

# ミズナラの遺伝資源を守る森林

うみじり  
海尻ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林

## 設定目的

ミズナラは我が国の冷温帯落葉樹林を代表する樹種であり、北海道東端から九州南端まで広く分布しています。また、家具材や樽材等に利用されてきた、林業的にも重要な樹種です。

このため、北海道を中心とした全国各地の国有林において、ミズナラの遺伝資源を保存するための保護林を設定しており、当保護林はそのひとつです。

## 地況・林況

八ヶ岳連峰から東に流れ出る湯川に面する北向き斜面に位置し、斜面上部は高い岩壁が連続しています。標高は一、〇〇〇mを超え、冬の寒さは非常に厳しく、零下二〇度以下になることも珍しくありません。

林況は、樹齢約百年のミズナラ、シオジ、サワグルミ等が群生する天然林となっています。

所在地  
長野県南佐久郡南牧村



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。